

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 13 巻第 4 号

第 4 週 (1月21日～ 1月27日)

発行年月日:平成25年(2013年) 1月31日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ インフルエンザは先週よりさらに増加

★ 一類～五類全数報告感染症の発生状況(第4週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 5名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**梅毒 1名**(病型:無症状病原体保有者)

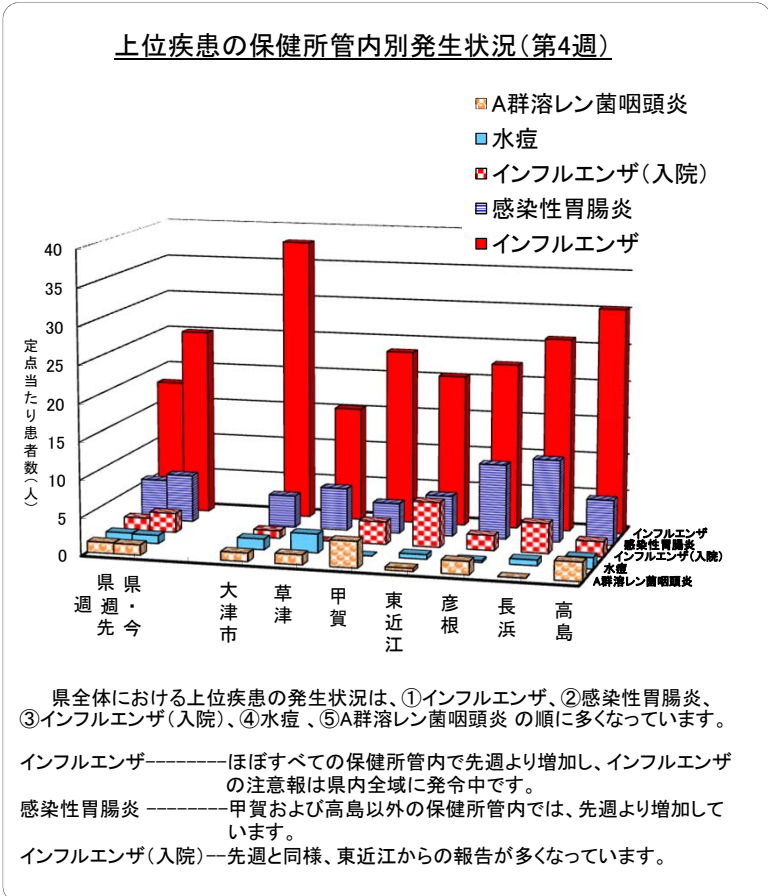
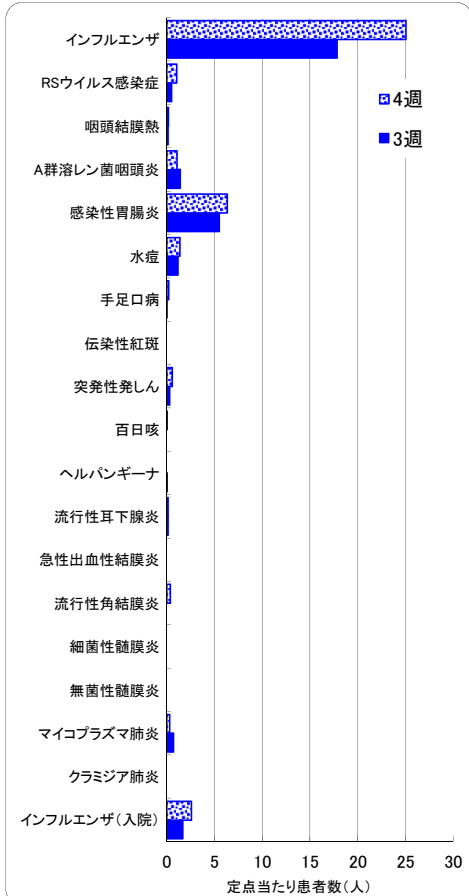
★ 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(1,264名)より増加し、今週は1,700名となっています。特に、インフルエンザでは先週の1.4倍増となっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、インフルエンザ(入院)等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)およびマイコプラズマ肺炎です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者18名の届出がありました。保健所管内別では、大津市1名、甲賀3名、東近江6名、彦根2名、長浜4名および高島2名です。年齢別では、0～11ヶ月2名、1歳1名、2歳4名、3歳1名、4歳1名、5歳2名、6歳2名、10～14歳1名、15～19歳1名および70歳以上3名です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

- 警報--- インフルエンザ (警報開始基準値 30.00、警報終息基準値 10.00) 大津市および高島保健所管内
注意報--- インフルエンザ (注意報発生基準値 10.00) 大津市および高島以外の保健所管内



県全体における上位疾患の発生状況は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③インフルエンザ(入院)、④水痘、⑤A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

インフルエンザ-----ほぼすべての保健所管内で先週より増加し、インフルエンザの注意報は県内全域に発令中です。

感染性胃腸炎-----甲賀および高島以外の保健所管内では、先週より増加しています。

インフルエンザ(入院)---先週と同様、東近江からの報告が多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成25年 累積報告数		平成24年 累積報告数 ^{(*)1}		平成23年 累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 (4週)	全 国 ^{(*)3} (3週注)	滋賀	全 国 ^{(*)3}	滋賀	全 国 ^{(*)3}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	20	850	254	28,763	338	31,467
三類感染症	コレラ	0	0	0	3	0	12
	細菌性赤痢	0	6	0	213	5	299
	腸管出血性大腸菌感染症	0	24	37	3,746	71	3,938
	パラチフス	0	4	0	23	0	23
四類感染症	E型肝炎	0	3	0	116	0	61
	A型肝炎	0	2	1	158	0	176
	オウム病	0	0	0	6	0	13
	つつが虫病	0	16	1	428	1	461
	デング熱	0	8	2	220	1	104
	マラリア	0	5	2	73	0	78
	レジオネラ症	0	36	10	892	12	819
五類感染症	アメーバ赤痢	1	39	13	925	2	814
	ウイルス性肝炎	0	7	4	233	1	249
	急性脳炎	0	16	3	349	1	259
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	6	2	181	2	136
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	10	3	242	2	198
	後天性免疫不全症候群	0	45	9	1,406	6	1,523
	ジアルジア症	0	2	1	71	1	68
	梅毒	1	40	1	883	6	827
	破傷風	0	4	0	116	1	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	7	0	91	0	73
	風しん	0	154	12	2353	2	374
	麻しん	0	10	1	293	1	443
	動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	0	0	1	9

注: 4週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

- * 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。
- * 2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。
- * 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第51週～平成25年第4週、H24.12.17～N25.1.27)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数 (↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少)										
			51週	52週	1週	2週	3週	4週	週				
			12/17～	12/24～	12/31～	1/7～	1/14～	1/21～	52	1	2	3	4
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.85	1.26	3.13	6.98	17.83	25.02	↑	↑	↑	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	2.63	1.81	1.03	1.00	0.53	1.03	↓	↓	↓	↓	↑
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.16	0.03	0.25	0.16	0.16	→	↓	↑	↓	→
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.91	1.28	0.59	1.38	1.44	1.09	↓	↓	↑	↑	↓
		感染性胃腸炎	13.72	9.34	5.28	6.88	5.50	6.34	↓	↓	↑	↓	↑
		水痘	1.28	1.88	1.75	1.78	1.19	1.38	↑	↓	↑	↓	↑
		手足口病	0	0	0	0.22	0.03	0.22	→	→	↑	↓	↑
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0	0	0	0	↑	↓	→	→	→
		突発性発しん	0.31	0.13	0.19	0.25	0.34	0.56	↓	↑	↑	↑	↑
		百日咳	0	0	0	0.03	0	0	→	→	↑	↓	↑
		ヘルパンギーナ	0.19	0.03	0	0	0.06	0	↓	↓	→	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	0.13	0.03	0.50	0.16	0.13	↑	↓	↑	↓	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0.38	0.25	0	0	0.38	↑	↓	→	↓	↑
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.29	0.71	0.86	0.43	0.71	0.29	↑	↑	↓	↑	↓
インフルエンザ(入院)*	7	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	→	→	↑	↓	→
		インフルエンザ(入院)*	0.14	0	0.29	0.57	1.71	2.57	↓	↑	↑	↑	↑

*: 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

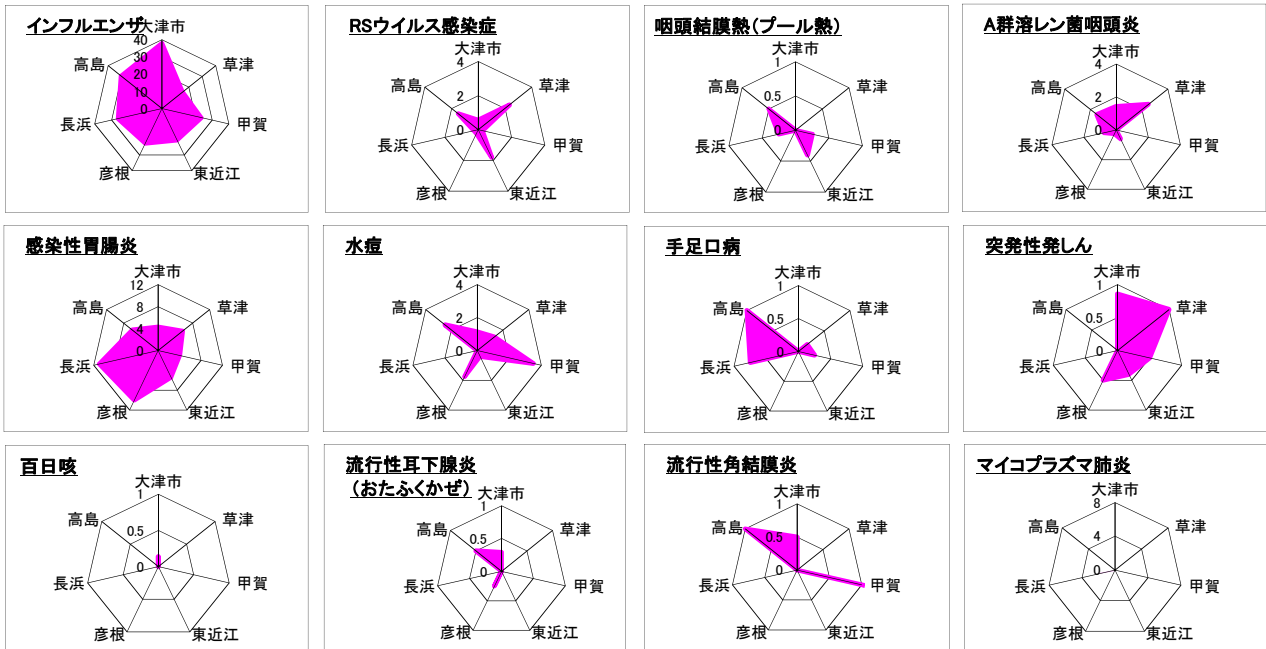
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第4週、1/21~1/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	25.02	37.91	15.30	23.43	20.38	22.29	26.00	30.33	
RSウイルス感染症	1.03	0.57	2.33	0.25	1.80	0.25	0.25	1.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0	0	0.25	0.40	0	0.25	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.43	2.50	0	0.60	0.25	0.75	1.50	
感染性胃腸炎	6.34	4.29	5.67	4.00	5.40	10.00	11.00	6.00	
水痘	1.38	1.14	1.33	3.50	0.40	1.75	0	2.50	
手足口病	0.22	0	0.17	0.25	0	0	0.75	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.56	0.86	1.00	0.50	0.40	0.50	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.29	0	0	0	0.25	0	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.38	0.50	0	1.00	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	2.57	1.00	0	3.00	6.00	2.00	4.00	2.00	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
 青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

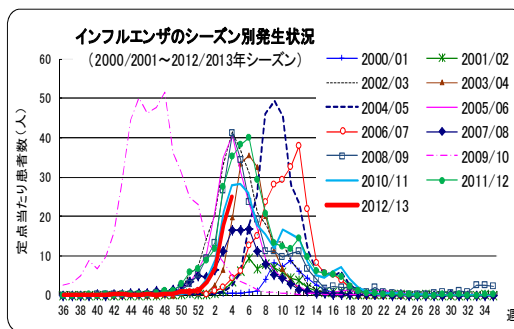
0 5 10 15 20 25 30
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

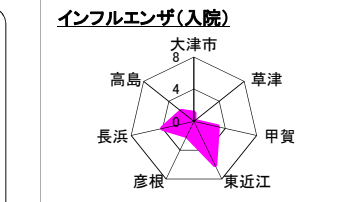
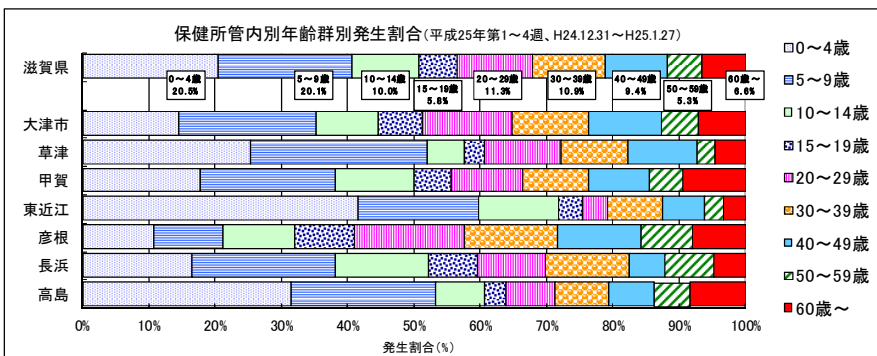


(3)今週の発生状況

インフルエンザのシーズン別発生状況
 (2000/2001~2012/2013年シーズン、
 平成12年第36週~平成25年第4週)

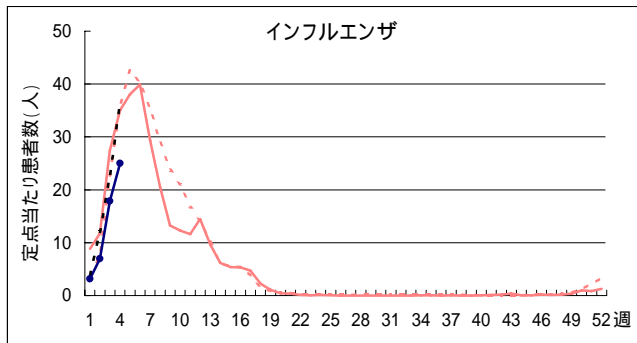


インフルエンザの保健所管内別
 年齢群別発生割合

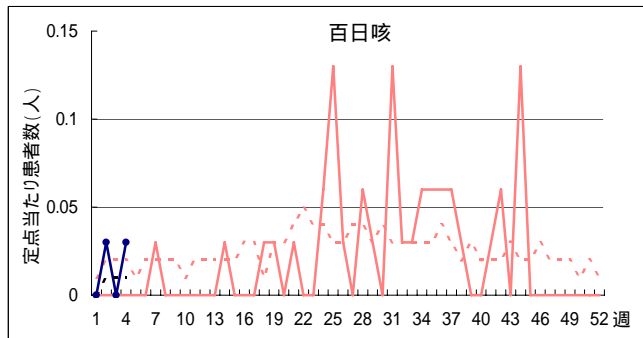
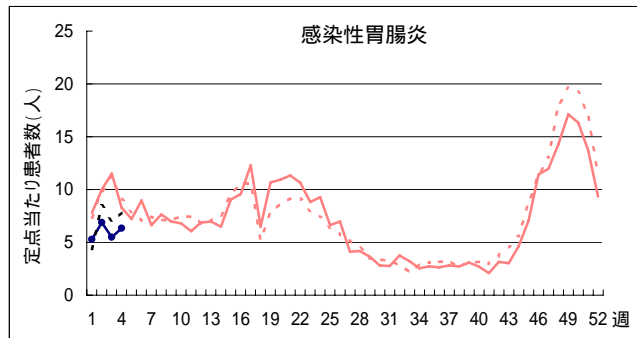
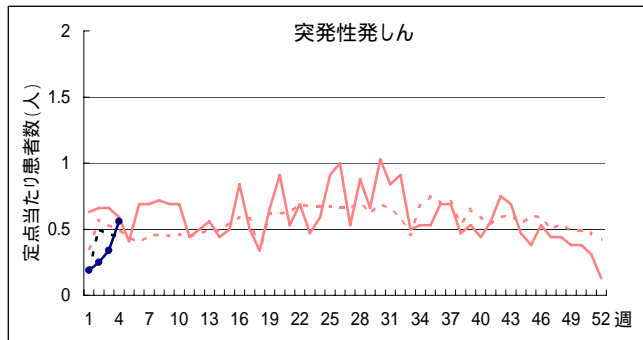
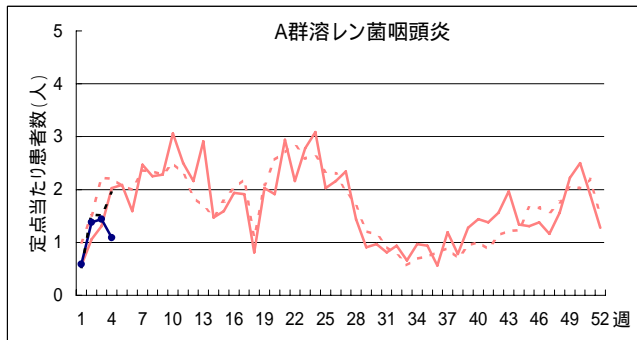
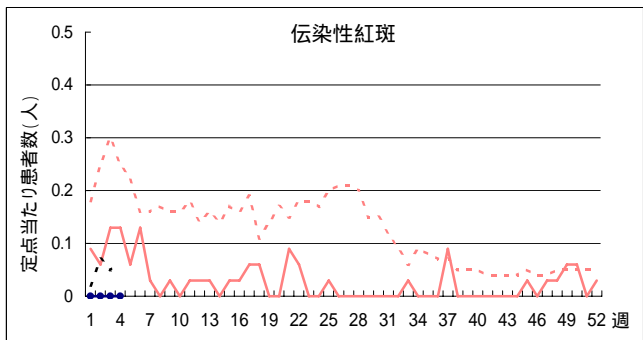
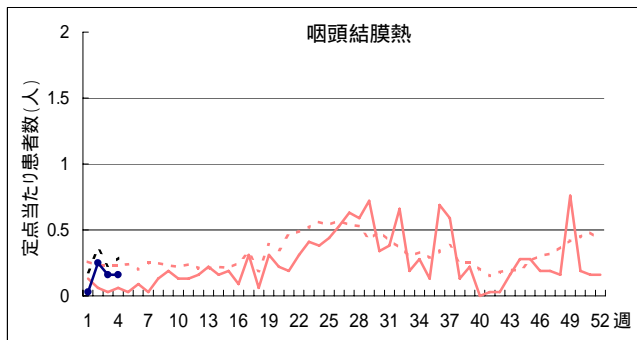
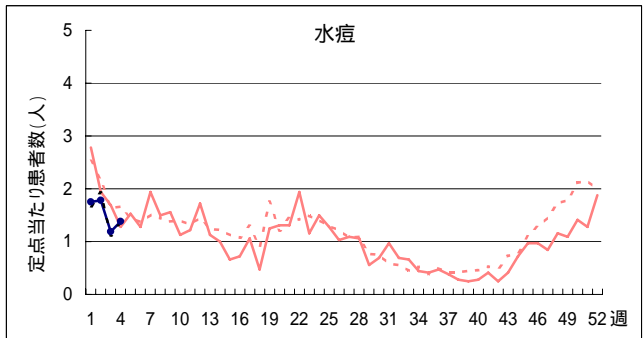
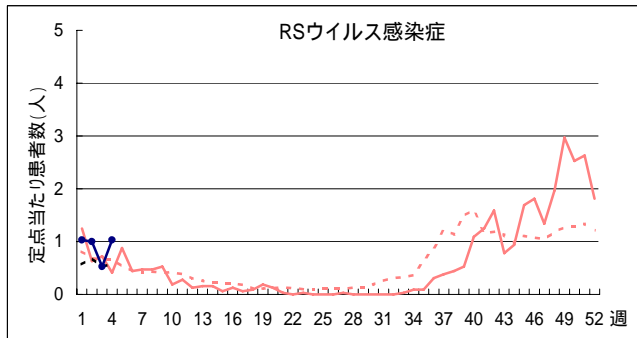


インフルエンザのシーズン別発生状況は、上記グラフのとおりです。
 保健所管内別年齢群別発生割合は左記グラフのとおりです。東近江および高島保健所管内では、他の保健所管内より0~4歳の発生割合が多く、20~29歳の発生割合が少なくなっています。また、大津市、甲賀、彦根および高島保健所管内では60歳以上の発生割合が多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成25年第1~4週、H24.12.31~H25.1.27)



H25 { 滋賀 ●—●
 全国
 H24 { 滋賀 —
 全国



疾病別定点当たり患者数 (平成25年第1~4週、H24.12.31~H25.1.27)

H25 〔滋賀 〇 全国〕 H24 〔滋賀 — 全国〕

